◆解答例



「1つのブロックで2つの処理を用意する2」



問題1と非常に似たプログラムになりますが、を使うことによって正解/不正解を判別

するプログラムは簡潔に終わらせることがで きるようになります。

ブロックで問題をだし、 と を組み合わせ、入力した答えが 正解である場合の処理と、不正解であった 場合の処理をそれぞれ設定することで 下誤判別問題を作成することができます。

プロックは、このように正解が1つしかない場合に非常に有効に使うことができます。